

自治会 第51号 あつぎ

目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的な活動から
- ◎行政と共同で築く豊かな文化

発行 厚木市自治会連絡協議会
編集 自治会連絡協議会広報部
電話 046-225-2101

県央フォーラムに参加して
〔共に生きる活力ある地域づくりについて考える〕
厚木市自治会連絡協議会
理事 大久保 盛 造

地域社会において、安全で充実した生活を送るため、そこには共助の力があり、そして長年培われた伝統・文化・自然・歴史等、大切にしたい規律を重んじる姿勢があると思います。

1月20日(土)時折、小雪が舞う午後、県央フォーラム運営委員会主催で7市町村による地域県民討論交流集会が厚木市文化会館小ホールで開催されました。

オープニングは、華かに飯山白龍太鼓連の寄席太鼓、白龍山下おろしの勇み打ちで開会しました。
井上昇実行委員長(厚木市自治会連絡協議会会長)・山口厚木市長の挨拶に続き、事例発表に入りました。

【事例発表】
最初は、厚木市で相模国飯山白龍太鼓保存会の活動について発表。
保存会が発足し30年を迎え、これは江戸末期から伝わる雨乞い行事を創作したもので、子供と大人のかかわりを大切にし、郷土芸能の継承保存に努めてきた。
かながわ民族芸能50選・東京国際和太鼓コンテスト入選等、努力した経過

の報告がされた。
大和市は、共育ちプラザ・まんまの自分と題して発表。
そのままの自分を認め合い、子供も大人も一緒になって育ち合おうと子供の居場所づくりと若者のひきこもり等自立・就労支援、特に在日外国人のサポートは難しいとのこと。

海老名市は、えびなの伝統行事と地域支援について発表。
農村歌舞伎・さらさら踊り等の保存に自治会が支援している。
「自治会の活性化には近道はない。豊かな土壌づくりが基本」と強調された。座間市は、鈴鹿・長宿区域まちづくりについて発表。

美しい街並みを創り育てる取り組みで、街づくり協定に基づき、特に湧水と歴史の里として、恵まれた景観と自然を生かした街並みと環境保全に対し、国土交通大臣から表彰される。綾瀬市は、目久尻川の環境整備について発表。

川の周辺道路には、紫陽花・カンナ等、周辺の畑には菜の花・コスモスが季節には咲き、道行く人の心を和ませている。
また、団塊世代は、地域活動を始める勇気が必要と期待は大きい。
愛川町は、春日台おもちゃの病院について発表。
ボランティアの仲間が、おもちゃを

無償で修理し、子供達に物の大切さを教えるコミュニケーションの場づくりをしている。
清川村は、青龍祭の再現・継承について発表。
青龍祭は、一度その姿を消したが住民の努力で地域の学習活動として復活した。
水と緑の心の源流郷として小さな村おこしを考え、川の瀬に龍が住みついてきた伝説で、干ばつには、雨乞いした等、青龍を源とした活動報告がされた。
【意見交換】
伊勢原市の女性から、大和市への質問で、「外国人が増加する中でどのようにサポートしたらよいか。」
海老名市の男性は、「綾瀬市の目久尻



オープニングの飯山白龍太鼓

川の浄化は、浄化装置があるのか。」
厚木市の男性は、「飯山の白龍太鼓と清川村の青龍太鼓との交流の場を考えたらどうか。」等の提案もあり活発な意見交換だった。
最後に井上実行委員長から、「活動の内容は異なるが、地域住民との連携で取り組みられている。住民相互が、顔の見える関係をつくり地道に活動していく事が自治会の基礎的活動ではないか。」との講評で、県央フォーラムは、会場溢れるばかりの参加者の中、盛大で有意義に終わりました。
家族や地域のつながりが薄れ、新たな支え合いが求められる中において今回の事例発表の共通点は、団塊世代の元気な力と豊かな経験からのエネルギーを地域社会に活用できればとの期待が大きかったと思います。
開催にあたり、行政の方々、実行委員会の皆様方に心より感謝申し上げます。

自治連ホームページ開設

平成19年2月1日、厚木市自治会連絡協議会のホームページを開設いたしました。ホームページを通じて、多くの方々に自治会の活動を御理解いただきたく考えております。ホームページアドレスは次のとおりです。
<http://www.tanzawa.or.jp/~jitiren/>

自治会活動の活発化で 住んで良かったまちづくりを

厚木市自治会連絡協議会
会長 井上 昇

今年の冬は暖冬で異常気象とも言われておりますが、皆様如何お過ごしでしょうか。昨年、第49号で18年度の自治会活動の重点についてお話ししました。その結果について報告いたします。

第一は安心安全のまちづくりです。各地区の防犯パトロールや子供達の登下校時の愛の目運動等に自治会皆様を始め、老人会・PTA・警察・行政等の御協力で取り組んだ結果、市内の刑法犯の発生状況は平成13年をピークに18年は大幅に減少しました。即ち13年は七・一三三件に対し18年は四二七四件と40%も大幅に減少しました。

その成果に対し、県当局にも評価され2月3日に実施された神奈川県安全安心まちづくり県民大会に於いて、厚木市安心安全のまち連絡会議に対し松沢知事から奨励賞が授与されました。



県民大会での表彰式 (向かって一番右側が井上会長)

我々が地道に取り組んできた全市的活動が大きな成果を上げ評価をされた結果であります。自治会の皆様を始め活動に御協力頂いている各団体の皆様に厚く御礼申し上げます。しかしまだまだ犯罪を減らす必要があります。空き巣や自転車盗・車上ねらい、高齢者を狙う振り込め詐欺などの犯罪減少に取り組む必要があります。

私達は今迄の活動に自信を持ち犯罪に立ち向い抑止力であるパトロールや近所の声掛け挨拶の励行など根気強く継続していく必要があります。やればやるだけ効果が上がります。犯罪の無い住んで良かった安心安全のまちづくり

に頑張りましょう。
第二は防災活動です。各自治会では防災訓練の実施や防災用機材の整備など充実されておりますが、今後は避難所設置の場合の運営訓練等の活動を積極的に進める必要があります。又各家庭での防災用品の用意や食糧・水等の備蓄も必要であります。災害は忘れた頃にやってくると言われております。皆様普段の準備を忘れないでください。
第三は自治会加入率の向上です。最近アパート・マンションが増加しておりますが、この入居者の方々の加入が望まれますが、おかげさまで最近徐々に加入される方が増えております。大事な事は建設計画の段階での建設業者などとの話し合いかと思っております。又入居者管理組合などとの話し合いも加入促進に効果的です。災害発生時の救出や救護物資の配分等は自治会が基本となります。人数や高齢者・幼児等の把握ができてないと救助活動に支障が出ます。今後も全市民が自治会に加入されるよう活動を続けていきたいと考えております。

以上、三項目は今後も自治会活動の最も大事な項目です。地道に取り組むを続け、住んで良かった厚木市の実現に努力してまいります。
最後に、各自治会の益々の発展と自治会の皆様の御健勝を御祈念申し上げます。



厚木市自治会連絡協議会 井上 会長

明るく住みよい地域
づくりをみんなの力で

久保自治会(荻野地区)
会長 岸 豊 作

私たちの久保自治会は、荻野の中央からやや北寄り、国道四一三号線から荻野川にいたる地域にあります。市道本郷柄沢線に沿って旧くからの家並みと国道に沿って比較的新しい家並みがあります。会員数は80世帯で小規模な自治会ですが、近年住宅地開発により、かなりの転入居者があり会員数も増えてきました。

自治会活動の特徴の一つとして、年二回の荻野川堤防の草刈清掃があります。これは伝統的に続いてきている行事で、美化清掃デーにあわせて実施されます。当日はほとんどの会員が、草刈機や鎌・くま手・ほうきを持って参加し、熱心に作業をします。

平成18年度当自治会は、近隣の檜ヶ谷、東、宮郷の自治会と共に防犯モデル地区の指定を受けましたが、その活動の一つとして、隔週金曜日夜間防犯パトロールを実施しています。七つの班の輪番制とし、会員と役員で地域の隅々まで丁寧に巡回します。このパトロールは本来の目的のほかに、地域をよく知ることができ、会員相互の交流・絆を強めるよい機会となっております。上荻野地区では、最近空き巣犯が多く発生しており、防犯啓発活動をさ



どんど焼き風景

らに推進することが必要です。

全市的に高齢化が進んでいます。当地区には幸い、高齢者の福祉・活動の拠点となる「市立荻野久保老人憩の家」が先輩諸氏の誘致努力により建設されています。現在当自治会は、近隣の泉、まつかけ、清源、真弓の各自治会、老人会及び民生委員が管理委員会を作り指定管理者となっております。この管理の仕事は自治会活動の重要なものとなっております。子どもたちの参加する行事として、毎年一月に「憩の家」の広場で実施する「どんど焼き」があります。今年初めての試みとして、当日の午前中にだんご作りをし、午後の「どんど焼き」のときに希望者に配布しました。

今後の課題として、これからの防犯活動の進め方、資源回収の拡大策等いろいろありますが、会員皆さんの御理解と御協力により推進していきたいと思えます。

風物詩「どんど焼き」
について

酒井宿自治会(相川地区)
会長 青木 忠 男

酒井宿自治会では、例年地域の風物詩として毎年1月第3日曜日にどんど焼きを行っております。

どんど焼きは、家内安全や無病息災を祈願する事はもとより、祠(ほこら)を造る準備や古いお札・お飾り・だるま等を持ち寄ることで地域会員相互の親睦と新年の挨拶を兼ねることが出来ます。祠を造る準備には5、6年前からだれかれと言ったことなく地元有志が、飾り材料(垂宗竹、真竹、稲わら)等を持ち寄ってくださるようになりました。

今年も寒い中を午前8時から老友会自治会役員、有志の方々の協力と、なぜか大勢の現場監督のもと知恵を絞って大きく見事な飾りつけが出来上がり、午後の火入れを待つばかり・・・午前中は少し風がりましたが、午後は晴天で風も止み、どんど焼きには絶好の日和と成りました。子供達にはお菓子を、お年寄りや大人達にはお神酒が振るまわれ、又各家庭で作った団子を竹ざおの先に付けて持ち寄り、地元消防団の警備の中で火入れを待ちました。

定刻、役員による点火。飾りつけに火が回り炎は10m以上立ち上り、孟宗竹・だるま等の爆音に参加者は驚きの声とともに一瞬身を引きます。舞い上



どんど焼きの様子

がると筆が上達すると言われる書初めなども、炎にあおられ天高く舞い上がりました。

見入ることしばし、炎で身体を温め参加者同士の歓談を重ね、飾りの燃え尽きるのを待つ残り火にて持参した団子を焼き、一年間の無病息災を祈りました。今年もどんど焼きに御協力いただきました老友会、自治会役員、有志の方々ありがとうございました。

又、9月第1日曜日には二つ目のイベントとして大運動会を防災訓練と共に実施しています。前日には自治会・青壮年会主導によるグラウンド整備・ライン引き・テントの設置、自治会婦人部の炊き出し準備が行われます。

当日は朝9時から開会し和気あいあいの中、アトラクションゲーム等が進められ、昼には消火器・三角布を使用した消火・救護訓練、竹ざお毛布使用の救出訓練を行い、後に婦人部による炊き出しを囲み懇親を深めます。

今後も会員皆様の御協力により自治会行事が盛大に実施出来るようよろしくお願い申し上げます。

皆で創る自治会を
めざして

林第四自治会(睦合南地区)
会長 小泉 省

私たちの自治会は、本厚木駅から北西二キロの国道四一三号線を挟む区画整理により整備された地区とそれ以前に開かれた地区とで会員五三〇世帯三年目の新しい自治会です。

東に小鮎川、西に丹沢連峰がそびえ夕焼けが大変きれいな地域です。四つの公園、小鮎川、西部用水と住宅そして大店舗が並んでいます。

そんな環境であるため自治会活動は簡単にはいきません。なぜなら安全安心そして明るく清潔な住宅環境の確保が大前提のもとで、新しい人達との融合、自然環境の確保、商業の繁栄が大切であると考えたからです。

このためまず、小鮎川林妻橋の落書きと不法投棄物の対策でした。落書き落しには東京工芸大美術部、林中学校の生徒との共同作業で素晴らしい壁画「カルフォニアの夕陽」が誕生しました。次に不法投棄では、トラック何台分も処分し、県から許可を得て土盛により整備し散策路として復活しました。

四月にはその堤防に桜並木が戻り多くの皆さんとお花見会を実施する事ができました。また、公園には二つの管理クラブが結成され季節の花植え草刈と有志によるゴミ拾いが実施されて美観が保たれています。親子や子ども達の



満開となった桜並木

遊び場となっております。その公園で初めての山形の芋煮会、鮭のチャンチャン焼・サンマ焼を、資源ゴミ協力金で実施したところ大好評でした。

また、商業地の国道沿いは、店舗の協力と林中学生の協力も得ながら歩道植込みに捨てられたゴミ拾いを実施し美観を保つ努力をしています。

さらに会員には優れた人材が多く協力を得ています。草刈、枝落とし、花植え、スポーツそしてホームページの立上等積極的に参加して貰っています。

昨年の11月から「林第四自治会ホームページ」が開設され五千件を超えるアクセスを頂きありがたく思っています。不在宅等には、回覧や情報提供ができ、時代にあった自治会運営ができると確信しています。

今後、会員の意見を共有した「一歩進んだ林第四自治会」を目標に行動していきたいと考えております。

小さな自治会に
大きな珍事

上飯山自治会(小鮎地区)
会長 金子 一三

三方を山々に囲まれ、自然豊かな環境に恵まれた地域に上飯山自治会があります。世帯数は86軒と小さな自治会です。

昨年の10月25日の夜、突然旅館の駐車場に熊が出没したと連絡が入り、駆けつけたところ半信半疑でしたが目撃した人がいる以上、住民の安全を考え地元消防団に緊急出動を要請し、全域の警備を数日間お願いいたしました。その後、熊出沒もなく一応警備を止めたのですが一週間ばかり続いた11月5日に再び熊が駐車場のラーメン屋さんの小屋に出没し小屋を破壊し食べ物を物色した後でして。地元消防団、警察、消防分署、猟友会の方が警備に力をかけてくださいました。熊の正体を見る事は出来ませんでした。

翌日、小鮎地区自治連の会長さん達の御協力により、住民の安全を守るために上飯山自治会広場に熊対策本部が設置され、貴重な時間を毎日朝早くから夜遅くまで本部に詰め、警備にあたってくださいました。おかげさまでパトロール、広報車による巡回、行政への呼びかけとやるべき事はすべて行うことが出来ました。このような迅速な対応がなければ被害が出ていたかも知れません。人の心の優しさ、おもしろい、私のような若輩者に地域の皆さんが一つになつて力添えしてくださった



捕らえられた熊

事、私は涙が出る程ありがたく思っております。そろそろ本部を解散し、後は自治会で警戒続行を決めておりました。熊は雨が降った翌日に出没する確率が高いと言われ、対策本部解散二日前に雨が降り、捕獲するチャンスが来ました。今日は絶対に罠(わな)にかかると全員祈る気持ちと、もしかしたら駄目かもと、姿なき熊に願いをこめる思いでありました。

その夜、上飯山を天と地がひっくり返るような珍事が起きました。皆の願いが通じたのか熊が罠にかかったのです。早速自治連の会長さん達も夜遅くにもかかわらずかけつけてくださり、翌日神奈川県等と話し合った結果、丹沢山中に放す事になりました。捕獲した熊は体重73キロ、身長1.63mと大きな雄の月の輪熊でした。県下で熊が出没しその捕獲に成功したのは、上飯山自治会が初めてのこと。熊は行動範囲が広いと言われておりますので注意して頂きたいと思えます。

言葉はつきませんが、各自治会の皆様の御繁栄をお祈り申し上げます。